

令和
3~6
年度

第5次総合計画の 後期基本計画がスタート!

「暮らしやすさ実感 ごうど(GO&DO)マイタウン」の実現へ

本町では、平成29年3月に令和6年度までを目標年度とする8年間の「第5次総合計画」を策定しました。第5次総合計画は、少子高齢化による本格的な人口減少社会の到来に備えるため、まちの将来像を「暮らしやすさ実感 ごうど(GO&DO)マイタウン」と掲げ、この計画期間内においては、特に「地方創生」と「住民協働」を基本に、子ども・子育てを支援する施策や、移住定住・防災・福祉・教育・住環境の整備に重点をおいて、諸施策に取り組んでまいりました。

このたび、令和3年度から令和6年度までの後期4年間がスタートするに伴い、これまでの前期4年間について、検証・評価をして計画を見直し、策定いたしました。本計画は、多くの町民の意見が反映された前期計画の取組を継承しつつ、各施策の進捗状況を踏まえ、これまでの取組のさらなる効果的な推進と、社会情勢の変化による新たな課題への対応を主眼において見直しを行っております。

これからの町政運営についても、町民の皆様と一緒に主要な課題に取り組みながら、持続可能で質の高いまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、皆様の積極的な町政へのご参画とご協力をお願い申し上げます。

※総合計画で掲げる5つの目標にかかる主な施策の考察と、今後4年間に向けての方向性についてご紹介します。



基本目標 1 郷土愛と創造性を育むところ豊かなひとづくり

施策 幼児・学校教育の充実

まちづくりの指標	〔H29〕 (前期基本) (計画策定時)	〔R2〕 (後期基本) (計画策定時)	〔R6〕 (後期基本) (計画終了時)
教育施設や教育環境が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 (母数から無回答を除く)	83.4% (平成27年度)	88.5%	

前期4年間の実績を踏まえた 「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」


「教育施設や教育環境」に関する満足度の数値は伸びました。本町では、計画期間内において、小中学校校舎内の全ての普通教室、特別教室に空調機器の整備を完了したことやトイレの便器の洋式化を含め、衛生環境が改善されるなど計画的に教育環境の整備を行ってきました。さらに、電子黒板やタブレット端末、デジタル教科書の採用などの学校ICT環境の整備を行いました。

今後も、児童生徒が安心して快適に学習に取り組むことができる環境を整えるために、施設の充実に努めるとともに、これまでの実践教育と最先端のICTのベストミックスを図り、教職員・児童生徒の力を最大限に引き出す教育を推進します。



▲ICT教育環境の整備(1人1台タブレット端末を配備)

施策 生涯スポーツの振興

まちづくりの指標	〔H29〕 (前期基本) (計画策定時)	〔R2〕 (後期基本) (計画策定時)	〔R6〕 (後期基本) (計画終了時)
スポーツクラブ・団体などに所属する登録者数 スポーツ団体・クラブ・サークルなどに所属する人数	4,105人 (平成26年度)	3,885人 (令和元年度)	4,000人
スポーツ(施設、活動の充実度)が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 (母数から無回答を除く)	81.6% (平成27年度)	88.4%	

前期4年間の実績を踏まえた「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」

町内のスポーツ施設等に対する満足度は6.8%増加しており、これは平成30年度に完成した「ごうど中央スポーツ公園」の再整備による施設の充実などが考えられます。しかし、スポーツクラブの登録者数は減少していることから、スポーツを継続して行う人を拡大するための機会が求められます。

今後は、各スポーツ施設や機器について、適正な維持管理を図るとともに、各スポーツ団体と連携して、スポーツが住民にとって、より身近なものになるように、スポーツイベント等の開催を通じて、スポーツによる「ひとづくり」「地域づくり」を進めます。



▲再整備された「ごうど中央スポーツ公園」

基本目標 2 みんなで支え合う安全な地域社会づくり

施策 子育て支援の推進

まちづくりの指標	〔H29〕 (前期基本) (計画策定時)	〔R2〕 (後期基本) (計画策定時)	〔R6〕 (後期基本) (計画終了時)
子育て環境(児童福祉・イベント)が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 (母数から無回答を除く)	87.5% (平成27年度)	89.4%	

前期4年間の実績を踏まえた「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」

子育て環境の満足度数値は増加しました。本町では、子育て世代への経済的負担の軽減策を打ち出し、きめ細かに実施しているほか、子育てボランティア団体と協働して子育て支援センターの円滑な運営を行っていることなどが評価されたと考えます。

今後も、子育て世代の経済的負担の軽減を図っていくほか、子育てに対する不安の軽減のために子育て世代包括支援センターの機能強化など、子育て支援サービスの質の向上を目指していきます。

施策 高齢者福祉の推進

まちづくりの指標	〔H29〕 (前期基本) (計画策定時)	〔R2〕 (後期基本) (計画策定時)	〔R6〕 (後期基本) (計画終了時)
高齢者福祉(施設・整備や体制)が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 (母数から無回答を除く)	75.3% (平成27年度)	83.8%	

前期4年間の実績を踏まえた「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」

高齢者福祉に関する満足度は、増加していることから、ばらタクや介護予防、認知症予防事業などの高齢者福祉サービスの充実にかかる取組が評価されたと考えられますが、一方で今回のアンケート調査において「地域活動に参加していない、参加したくない」の回答数が増えている結果から、活動に参加してもらうための方策などについて検討していく必要があります。

今後も、老人大学や老人クラブにおける活動の充実により、高齢者の健康と生きがい対策の推進に努めるほか、高齢者の心身の多様な課題に対して、きめ細かな支援を行うため、疾病予防、重症化予防、フレイル予防への支援を地域づくり活動を通じて促進していきます。

施策 防災対策の推進

まちづくりの指標	〔H29〕 （前期基本） （計画策定時）	〔R2〕 （後期基本） （計画策定時）	〔R6〕 （後期基本） （計画終了時）
災害時の安全性が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 （母数から無回答を除く）	84.7% （平成27年度）	83.9%	

前期4年間の実績を踏まえた「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」

東日本大震災以降、町地域防災計画の見直し、各種マニュアルの作成のほか、指定避難所における防災資機材の計画的な配備、自主防災組織のリーダー研修会の開催など、地域防災力の強化に努めてきましたが、住民の満足度の増加にはいたりませんでした。毎年全国各地で発生する地震や風水害の影響で、更なる安全性を求める声が高まっていることが分かります。

今後も災害が起きた際に初動体制が迅速に行えるように、自主防災組織の活動の推進を支援するとともに、防災リーダーの育成と防災リーダーが地域で活動しやすい環境づくりを進めることで、地域の防災力の強化に努めます。



また、災害時に必要な非常用物資の配備と感染症対策に対応した資機材の充実を図ることにより、災害時における応急体制の整備に努めます。

感染症に対応した避難所開設訓練の実施（令和2年7月）▶



基本目標3 安全で快適に暮らせる居住環境づくり

施策 道路・交通体系の整備

まちづくりの指標	〔H29〕 （前期基本） （計画策定時）	〔R2〕 （後期基本） （計画策定時）	〔R6〕 （後期基本） （計画終了時）
道路維持管理に関する要望件数 各区からの道路整備に対する要望件数及び住民からの苦情件数	130件/年 （平成26年度）	109件/年 （令和元年度）	
養老鉄道の乗降客数 広神戸駅・北神戸駅・東赤坂駅における1日あたりの乗降客数	1,670人/日 （平成27年度）	1,694人/日	1,750人/日
交通の利便性が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 （母数から無回答を除く）	65.4% （平成27年度）	62.4%	

前期4年間の実績を踏まえた「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」

交通の利便性に関する満足度の向上のため、今後も交通需要に応じた公共交通網の維持と充実を図る必要があります。

今回のアンケート調査における「道路の整備状況」に関する満足度は、前回数値74.9%から81.6%に大きく増加しました。東海環状自動車道大野神戸ICの開通、主要地方道岐阜関ヶ原線の4車線化、加納丈六道線道路改良工事、末守西保2号線通学路整備事業など主要道路の拡幅、歩道の設置により、安全で快適な道路整備の成果が表れています。

基本目標4 まちの活力を創出する魅力的な産業づくり

施策 商工業の振興

まちづくりの指標	〔H29〕 （前期基本） （計画策定時）	〔R2〕 （後期基本） （計画策定時）	〔R6〕 （後期基本） （計画終了時）
日常の買い物の便利さが満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 （母数から無回答を除く）	65.9% （平成27年度）	68.8%	

前期4年間の実績を踏まえた「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」

日常の買い物の便利さにかかる満足度は増加しました。しかし、周辺市町では大型商業施設や飲食店などの進出で商業の活性化がみられ、本町の既存事業者は顧客離れや売り上げの減少に悩んでいるのが現状です。

一方、東海環状自動車道大野神戸ICの開通に伴い、工場の進出や既存企業の事業拡大が見込まれます。この好機を活かすため、関係機関や事業者間との情報交換、協力・連携により、新規企業の誘致を推進します。

基本目標 5 パートナシップで築く持続可能なまちづくり

施策 まちづくりへの住民参画

まちづくりの指標	〔H29〕 (前期基本 計画策定時)	〔R2〕 (後期基本 計画策定時)	〔R6〕 (後期基本 計画終了時)
地域コミュニティが満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 (母数から無回答を除く)	87.8% (平成27年度)	89.6%	

前期4年間の実績を踏まえた

「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」

地域コミュニティに関する満足度は上昇しました。これは、子育てや観光、リサイクル関係のボランティアなど、住民参画のまちづくりの取組が促進している成果であると考えますが、一方で、今回の住民まちづくりアンケートにおいて「地域活動に参加していない、参加したくない」の回答数が増えています。コミュニティ活動を継続していくための方策などについて検討していく必要があります。

今後も、多くの住民がまちづくり活動に参加しやすい環境づくりに努め、まちづくりの担い手の支援と育成を図っていきます。



▲神チャレンジプロジェクト 全体報告会

施策 効率的な行財政運営

まちづくりの指標	〔H29〕 (前期基本 計画策定時)	〔R2〕 (後期基本 計画策定時)	〔R6〕 (後期基本 計画終了時)
自主財源比率 一般財源に占める自主財源の割合	58.1% (平成26年度)	59.1% (平成30年度)	60.0%
電子申請・届出できる手続きの種類 町ホームページから申請や届出の手続きができる事務件数	— (平成26年度)	4件	8件

前期4年間の実績を踏まえた「まちづくり指標の考察」と「目指すまちの姿」

今後も、町税の安定確保、受益者負担金の見直しなど歳入確保に努め、健全かつ適切な財政運営を堅持していく必要があります。そのためにも、効率的で効果的な行政サービスの向上と経費削減を図ります。

この他、多様なライフスタイルやニーズに対応するため、事務処理の効率性、利便性を向上させるなど、デジタル行政サービスの充実を目指します。

- 今回の広報でお知らせした内容は、第5次総合計画を抜粋したものです。全体の内容は、町のホームページ(https://www.town.godo.gifu.jp/politics/pdf/politics08_01/plan14.pdf)において公表しています。

第2期 まち・ひと・しごと創生 「人口ビジョン」・「総合戦略」を策定しました。

人口減少の克服と地方創生を目的として国が示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方をもとに、人口の将来展望の見通しを示す「第2期人口ビジョン」及び、人口ビジョンが描く将来像に向け、取り組んでいく施策の基本方針をまとめた「第2期総合戦略」を、令和2年度末に策定いたしました。

策定にあたっては、町民2,000人を対象としたアンケート調査を実施したほか、有識者会議において検討するなど、貴重なご意見をいただきながら進めてまいりました。

今後は、KPI(重要業績評価指標)数値の検証、基本目標に掲げた事業を進めながら総合戦略を進化させ、人口減少に歯止めをかけるための取組を推進していきます。

第2期人口ビジョン・総合戦略の内容については、町ホームページをご覧ください。

◆第2期人口ビジョン

◆第2期総合戦略



■問い合わせ先 まちづくり戦略課 ☎27-0172